

【イベントレポート】
「多様性と平等がひらく未来」をテーマに開催
約27万人が参加した「Tokyo Pride 2026」
Pride Parade & Festival

プライドパレードではすべての人の平等な権利を願う15,000人が渋谷を大行進

特定非営利活動法人 東京レインボープライド（共同代表理事：山田なつみ、佐藤ユウコ、以下TRP）は、アジア最大級のLGBTQ+関連イベントである「Tokyo Pride 2026」の一環として「プライドフェスティバル」および「プライドパレード」を6月6日（土）、6月7日（日）の2日間、代々木公園にて開催いたしました*1。

*1 プライドパレードは6月7日（日）のみ実施

プライドパレード参加者 15,000人／梯団数60
プライドフェスティバルのベ動員数 約270,000人（パレード人数含む）
協賛団体数 256団体



<共同代表理事 山田なつみ/佐藤ユウコからのメッセージ>

今年はイベントの形をさらに進化させ、多くの皆様とともにプライドパレードとプライドフェスティバルを開催することができました。

今年のTokyo Pride 2026のテーマは「多様性と平等がひらく未来」です。

2026年は、同性婚をめぐる最高裁判断など、私たちの社会にとって極めて重要な一年を迎えています。一方で、LGBTQ+コミュニティを取り巻く課題は、法制度だけでなく、日常の中にある偏見や孤立、安心して生きられる環境づくりなど、多岐にわたっています。

「すべての人の人権が守られる、本当の平等」への道のりはまだ途上にあります。しかし、誰もが尊重され、自分らしく生きられる社会の実現に向けて、一人ひとりの声や存在が、社会を少しずつ変えていく力になると私たちは信じています。

だからこそ私たちは、プライドパレード&フェスティバルを単なる“お祭り”で終わらせるのではなく、人と人が出会い、対話し、互いの違いを知ることで、「平等」について社会全体で考えるきっかけをつくりたいと考えています。プライドパレード&フェスティバルは終了いたしました。Tokyo Pride 2026はまだ終わりません。Youth Pride、Queer Art Exhibition、Human Rights Conferenceなど、このプライド月間を通じて、コミュニティの可視化や人権課題への理解を広げていきます。

LGBTQ+に限らず、多様な誰もが「らしく、たのしく、ほこらしく」生きられる社会の実現を目指して、私たちはこれからも一歩ずつ、着実に歩んでまいります。

これからも引き続き、応援をよろしくお願いいたします。

Happy Pride!

山田なつみ、佐藤ユウコ

会場内では、企業・団体・コミュニティによる多彩なブースが並び、来場者同士が交流する姿も多く見られました。初めてプライドイベントに参加した人や、全国各地から訪れた参加者にとっても、新たなつながりや居場所と出会う機会となりました。

主催・TRPのブースでは、来場者が自由に立ち寄り、休憩や交流をしながら安心して過ごせる空間「Tokyo Pride Lounge」を展開。会場のにぎわいの中で、初めて参加した人や一人で訪れた人も気軽に過ごせる“居場所”として、多くの来場者が利用しました。ブース内では、来場者の体験や想いを共有する展示も行われ、それぞれの声に触れながら交流する様子が見られました。

また、ユースチームによる「YouthProjectブース」では、活動紹介や企画展示「マジそれな！でも言えない展」を実施。ユース世代のリアルな声を発信することで、「自分と同じようにもやもやしていた人がいたんだ」と、多くの来場者が共感し、対話や新たなつながりが生まれる場となりました。

さらに「JAPAN PRIDE NETWORK」ブースでは、今年も全国各地からプライド団体が集結。それぞれの活動紹介をしながら、来場者と全国のコミュニティをつなぐ交流の場となりました。

今年のプライドステージには、2日間で総勢17組150名超の過去最大規模となるパフォーマーが出演。

司会の青山テルマさんとドリアン・ロロブリジーダさんが登場し、ステージが開幕。今年のテーマ「多様性と平等がひらく未来」を語り、オープニングを盛り上げました。

オープニングアクトを飾ったのは11名の若手ドラッグクイーン「iGFinity（アイジーフィニティー）」によるDRAG QUEENS SHOW。華やかなパフォーマンスとともに、初日のステージが幕を開けました。

続いて、公募によって選ばれた才能溢れる3組のアーティストが登場。唯一無二の世界観を構築する3人組「YENO」、濃密な人間模様を舞台へと昇華させる劇団「薔薇族」、そして「ちゅん」が、それぞれ個性豊かなパフォーマンスを披露しました。

続いて登場したのは、世界的ダンスパフォーマンスグループ「RHT.」に所属するMacoto(RHT.)さん。しなやかさと力強さを兼ね備えた圧巻のダンスパフォーマンスで、観客を魅了しました。

さらにR&BシンガーのSIRUPさんが登場。ラップと歌を自由に行き来するボーカルスタイルと、HIPHOPを融合させた洗練されたサウンドで、会場の熱気を一段と高めました。

続いて会場のボルテージを引き上げたのは、歌手のAIさんです。「ハピネス」をはじめ4曲を披露。熱い想いを乗せた力強いパフォーマンスで、会場全体が一体感に包まれました。

観客が音楽に合わせて歌い、手を振る姿も見られ、Pride Festivalならではの高揚感あふれる時間となりました。

1日目のラストを飾った「DRAG QUEENS SHOW TIME #2」では、4組のドラッグクイーン、Rachel D'Amourさん、肉乃小路ニクヨさん、ビビー・ジェローデルさん、ブイヤベースさんが登場。それぞれの個性あふれるパフォーマンスで会場を彩り、ドラッグカルチャーならではの華やかさと存在感を届けました。

初日のPride Stageは、世代もスタイルも異なるドラッグクイーンたちが集結し、例年以上にその熱量に包まれる1日となりました。この日、この場所でしか観られない特別なショーが繰り広げられ、観客から大きな歓声を送られました。



プライドフェスティバル2日目は、前日を超える来場者でさらに活気が増し、午後には渋谷・原宿間を行進するプライドパレードがスタート。15,000人・60梯団が参加し、イベントのテーマ「多様性と平等がひらく未来」のもと、同性婚法制化やトランスジェンダーの権利、Youth世代の声、全国のプライド活動の可視化など、LGBTQ+コミュニティが直面する多様な課題を掲げて行進しました。

先頭は主催である東京レインボープライドが歩き、さまざまな人権課題やメッセージをつなぐ主催者梯団として「多様性と平等がひらく未来」を掲げ、平等な社会の実現を訴えました。

続くフロートには婚姻の平等（同性婚法制化）を求めるMarriage For All Japanをはじめ、トランスジェンダーの権利や尊厳を発信する Trans Rights、「同世代のつながり」をテーマに活動するYouth Pride、日本全国のプライド団体が連携する全国プライドネットワークなどが参加。それぞれの視点からLGBTQ+コミュニティの多様な声を社会へ発信しました。参加者も自身の思いを込めたメッセージを掲げ、それぞれのテーマに沿って歩きました。

プライドパレード終了後、婚姻の平等（同性婚）実現のために活動する団体・Marriage For All Japanがプライドフェスティバルのステージに登壇し、特別企画を実施。法律上同性どうしの50組100名のカップルがステージに上がり、一斉に「愛は勝つ」のメッセージカードを掲げながら、同性婚法制化への願いを力強く発信しました。

また、原告当事者へのインタビューや家族からの手紙の読み上げも行われ、それぞれの人生や想いに、会場全体が耳を傾ける時間となりました。

パレード前のプライドステージでは、公募出演者としてシンガー・西原さつきさんが登場し、自身の思いを込めたパフォーマンスを披露しました。

プライドステージでは、思いのこもった歌声と豊かなハーモニーを織り込んだサウンドが特徴のR&Bユニット「Jasmine High」、そして性別やジャンルの壁を歌とドレスで鮮やかに飛び越えるソロシンガーのKayaさんが登場。それぞれが唯一無二のパフォーマンスを披露しました。

続いて登場したのは、国内外のアーティストの振付やバックダンサーを務める、世界的に活躍するダンスアーティストのAYA SATOさん。

そしてステージプログラムの終盤には圧倒的な歌唱力で人気を博す3人組ユニット「八方不美人」が登場。圧倒的な歌唱力と会場を巻き込むパフォーマンスで、大きな盛り上がりを見せました。

ラストを飾ったのはドラッグクイーン・枝豆順子さんがプロデュースする総勢80名出演のスペシャルショー。プログレスプライドフラッグに使われている“色”をテーマに構成されたショーでは、ドラッグクイーンやダンサーたちによる華やかなパフォーマンスが繰り広げられました。

ジャンルや性別を越えて“ありのままの輝き”を称え合うフィナーレとなり、「多様性と平等がひらく未来」への想いを共有しながら、Tokyo Pride 2026 Pride FestivalとPride Paradeは幕を閉じました。



Tokyo Pride オフィシャルスチール格納URL

<https://vectorincgroup.box.com/s/scbe7lk2ij45liiy13m68kkvqyuk9fpt>

パスワード: IW1Hxz0W7!1

東京レインボープライドについて

特定非営利活動法人東京レインボープライドは、性的指向および性自認にかかわらず、すべての人が、差別や偏見にさらされることなく、より自分らしく、前向きに生きていくことができる社会の実現を目指し、Tokyo Pride * 2の運営や、教育・啓発、芸術・文化、コミュニティ支援、ウェルネスサポートの各事業、アドボカシーを通じて、多様性の尊重と理解促進を目指しています。

毎年、アジア最大級のLGBTQ+関連イベントとして「Tokyo Pride」を開催し、多様な文化やコミュニティが一堂に集うことで、相互理解と連帯を深める機会を創出しています。

*2 2024年までは、東京レインボープライド（Tokyo Rainbow Pride）の名称にて開催。

Tokyo Pride 2026 公式ウェブサイト

: <https://pride.tokyo/>

TRP公式ウェブサイト

:

<https://tokyorainbowpride.org/>

TRP公式YouTubeチャンネル「TRPチャンネル」

: <https://www.youtube.com/c/TokyoRPride/>

TRP公式Xアカウント

:

https://twitter.com/Tokyo_R_Pride

TRP公式Instagramアカウント

:

<https://www.instagram.com/tokyo.r.pride/>

TRP公式Facebookアカウント

:

<https://www.facebook.com/Tokyo.R.Pride/>

ハッシュタグ

: #TokyoPride2026